

第 169 回幹事会議事要旨

日 時 平成25年2月22日（金） 13：30～16：30

場 所 日本学術会議6 - A（1）（2）会議室

出席者 （会長） 大西 隆

（副会長） 武市 正人、小林 良彰、春日 文子

（第一部） 佐藤 学、大沢 真理、後藤 弘子、丸井 浩

（第二部） 山本 正幸、生源寺 眞一

（第三部） 家 泰弘、荒川 泰彦、土井 美和子

（事務局長） 齋藤 敦

（事務局次長） 飯島 信也

（課長等） 渡邊 清、上平 春樹、石原 祐志、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 幹事会附置委員会の提言・報告の査読を科学と社会委員会で担当することとするため、日本学術会議の運営に関する内規等の改正を決定した。
 - (2) 科学と社会委員会運営要綱の一部改正（委員会の組織及び分科会の調査審議事項の改正）及び委員会委員を決定した。
 - 調査審議事項の改正
 - ・課題別審議等査読分科会
 - (3) 国際委員会運営要綱の一部改正（新規設置 1 分科会）及び分科会委員（持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2013 分科会）を決定した。
 - 新規設置
 - ・持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2013 分科会
 - (4) 若手アカデミー委員会運営要綱の一部改正（分科会設置期限の延長）を決定した。
 - 設置期限の延長
 - ・学術の未来検討分科会
 - (5) 分野別委員会運営要綱の一部改正（新規設置 2 小委員会、設置期間の延長 2 分科会、定数の変更 2 分科会）及び委員会等委員（4 分科会、3 小委員会）を決定した。
 - 新規設置
 - ・総合工学委員会 I C O 分科会光科学技術調査企画小委員会
 - ・総合工学委員会原子力事故対応分科会福島第一原発事故調査に関する小委員会
 - 設置期間の延長

- ・基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物学分野の参照基準検討分科会
- ・健康・生活科学委員会家政学分野の参照基準検討分科会

○定数の変更

- ・心理学・教育学委員会心の先端研究と心理学専門教育分科会
- ・経済学委員会数量的経済・政策分析分科会

- (6) 提言「我が国の子どもの成育環境の改善にむけてー成育時間の課題と提言ー」について心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会の五十嵐隆委員長、木下勇幹事より説明があり、審議の結果、所要の修文について第二部が責任を持つことを条件に承認された。
 - (7) 提言「科学・技術を担う将来世代の育成方策～教育と科学・技術イノベーションの一体的振興のすすめ～」について科学・技術を担う将来世代の育成方策検討委員会の柘植綾夫委員長・藤田英典副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修文について科学と社会委員会が責任を持つことを条件に承認された。
 - (8) 提言「日本の経済政策の構想と実践を目指して」について日本の経済政策の設計と具体化検討委員会の鈴木興太郎委員長、福田 慎一幹事より説明があり、審議の結果、所要の修文について科学と社会委員会が責任を持つことを条件に承認された。
 - (9) Future Asia に関する会議に会員を派遣することを決定した。
 - (10) W S F (ワールドサイエンスフォーラム) 運営委員会に会員を派遣することを決定した。
 - (11) 地区会議構成員の所属地区の変更を決定した。
 - (12) 10 件のシンポジウムの開催、また 1 件の国際会議、2 件の国内会議の後援を承認した。
- 4 その他事項として、今後の幹事会開催日程について、一部変更が確認された。
- 5 以下の非公開審議が行われた。
- (1) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）及び小委員会委員を決定した。
 特段の事情を考慮し、以下の分科会に、複数名の特任連携会員が任命された。
 - ・心理学・教育学委員会健康・医療と心理学分科会
 (心理学と医療の両分野の連携を推進する観点から、日本精神神経学会を代表する方などを委員に加えていく必要が引き続きあるため)
 - ・法学委員会生殖補助医療と法分科会
 (第 20 期に設置された課題別委員会からの審議の継続性を図り、法的観点から審議のとりまとめを進める必要が引き続きあるため)
 - ・総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
 (遺棄化学兵器の廃棄処理の安全な遂行に係る環境問題に精通した人材に加えて、「安全目標」に係る専門家として、また小委員会委員長として引き続き審議への参加が不可欠であるため。)